愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	グローバルビジネス・リーダーシップ		
担当者(Instructors)	舩木 恵一	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択
			実務家教員科目(Pro teacher course)

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
本講義では「企業とグローバル人材」と「グローバル人材育成論」を履修した学生を対象に、どのようにグローバルビジネスリーダーになるのか、どのように人々を導くのか、組織はどのようにリーダーを補佐するのか、リーダーシップの資質と本質的な役割に焦点をあて、アジア人が国際社会でリーダーシップを発揮するにはどうすべきかを理解することを目指します。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	テーマに関するディスカッションやディベート、グループワークやプレゼンテーションなど能動的な学習（アクティブ・ラーニング）を行います。
当該科目と実務との関係(Relationship between cource and practice)	海外での駐在経験９年を含む外資系企業での通算30年に及ぶ勤務経験をもとに、多国籍企業で働くことの意味や、外国人との共同作業における重要なポイントを具体的事例を基に解説します。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション～講師紹介　ビジネスのリーダーシップとは	授業の進め方、各回のテーマ、講師紹介、レポート作成手順の紹介	□
第2回	インターナショナルとグローバルの違いとは何か	誤解しやすい言葉の意味　グローバルな問題には何があるのか	□
第3回	グローバリゼーションは世界を滅ぼすのか	グローバリゼーションの歴史と現状　各国で起きている様々な現象の理解	□
第4回	グローバル人材とはコミュニケーション能力なのか	グローバル人材の再定義　言語能力はどこまで重要なのか	□
第5回	①ディスカッションとグループワーク尊敬するビジネスリーダー	自分の尊敬するビジネスリーダーを選びその理由を説明する	□
第6回	リーダーとマネージャーの違いとは何か	中間管理職とビジネスのトップリーダーとの違いを理解する	□
第7回	ビジネスにおいて守るべきモラルとは	コンプライアンスとモラルの違い　仕事における倫理について考察する	□
第8回	世界はどのように分類できるのか	文化の世界地図で世界を俯瞰的にみる　グローバルマインドとはどういうものかを考察する	□
第9回	②ディベート　グローバルで活躍する人材の思考パターンとは	競争力のある人材が持つ思考パターンについて意見を述べ合う	□
第10回	外資系企業にチームワークは存在しないのか	外資系企業と日本企業の常識の違いを理解する	□
第11回	検索だけで教養は身につくのか	ググる（検索）とリベラルアーツ（教養学習）の違いを理解する	□
第12回	ディモチベーターとなる要素にはなにがあるのか	海外との取引でうまくいかない要因には何があるのかを考察する	□
第13回	成功するリーダーの共通点とは	ビジネスリーダーに求められる資質について理解する	□
第14回	プレゼン準備　これまでの学びと個人の考え①②を交えて③を作成する	各自でアジア人がグローバルレベルのリーダーになるにはどうすべきかのプレゼンテーション課題に取り組む	□

第15回	③プレゼンテーション　アジア人がグローバル人材になるにはどうしたらよいのか	アジア人の特性を踏まえたグローバル人材のあり方について各自の考えを発表する	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

初回と演習方式（上記の①②③）の授業日以外は、必ずテーマ（主要な問い）について2時間程度事前に調べ、その内容をレポートできるように予習してください。授業後は、授業前に調べた内容と授業内容を照らし合わせ、疑問点を抽出し2時間程度復習することで、テーマやキーワードの内容の理解を深めてください。また演習方式の授業にあたっては提示された内容の準備を事前に4時間程度行ってください。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回所定のフォーマットを配布します。☒　授業後に学習した内容を記入。☒　自身の予習内容と授業内容の比較検討を行い、学びのポイントを整理して記入提出。フォーマットには授業への要望なども記載可能ですので、教員とのコミュニケーションが図れます。記入内容は添削・採点の上、翌週の授業時間前に返却しフィードバックを行います。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018国際ビジネスDP1	国際化時代にふさわしく、主体的にグローバル・リーダーシップに関する知識と技能を身につけている。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

演習方式（①②③）課題への準備（取組姿勢や作業）及び発表内容を評価します。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ありません。教員が毎回スライド及び配布資料を用意します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ウォレン・ベニス　「リーダーになる」海と月社　2008年	978-4-903212-08-1
2	倉本由香里　「グローバル・エリートの時代」講談社　2012年	978-4-06-282144-5
3	渥美育子　「世界で戦える人材の条件」PHP研究所　2013年	978-4-569-81169-7
4	トム・マーカート　「外資のオキテ」Disvover21 2008年	978-4-88759-615-3
5	Erin Meyer 「The Culture Map」Public Affairs	978-1-61039-276-1